



神秘的な面に魅了されて

8月24日(木)から27日(日)まで、栗原文化会館を会場に「第16回夢玄面友会能面展」が開催されました。

今年で16回目の開催となったこの能面展には、夢玄面友会師範菅原夢玄さん(一迫中町)の作品の他、菅原さんが主宰する能面教室の会員10人が制作した作品51点が展示されました。

会場には、能面が大好きだという子どもたちが訪れ、うれしそうな様子で何度も作品を見て回っていました。



長寿100歳おめでとうございます

8月20日(日)に菅原鉄男さん(一迫荒町)、8月24日(木)に高橋恵子さん(築館八幡町)が、100歳を迎えられました。

若い頃から100歳まで生きると家族に話していた菅原さんは、けがや病気を乗り越え、長年の目標を達成し、元気に過ごしています。

また、家業の農家を手伝いながら、5人の子育てをしてきた高橋さんは、若い頃から縫い物や編み物が好きで、洋服などを作って過ごしていたそうです。



心に響く重厚なハーモニー

9月3日(日)、若柳ドリーム・パルを会場に「パナーシュ・クワイア30周年記念演奏会」が開催されました。

結成30周年となった演奏会では、60代から80代のメンバー15人による合唱の他、新進気鋭のシンガーソングライター泉忠伸さんをゲストに迎え、共演しました。

男声合唱ならではの重厚なハーモニーに彩られた「赤とんぼ」や「青い山脈」などの曲が披露されると、観客は響き渡る歌声に聞き入っていました。



平和への誓い新たに

9月2日(土)、栗原文化会館で「栗原市戦没者追悼式」を挙行し、戦没者の遺族や関係者など約250人が参列しました。

黙祷の後、佐藤哲市長が「悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、将来を担う次の世代に、戦争の悲惨さ、命の尊さ、平和の大切さを継承していくことが、私たちの使命である」と式辞を述べ、平和への誓いを新たにしました。

また、参列者全員で献花を行い、戦没者のご冥福と恒久平和を祈りました。



- ①夜空に咲く大輪「若柳夏まつり花火大会」
- ②道の駅 踏田里はなやまで開催された「はなやま夏まつり」
- ③「2023せみね夏祭り」の盆踊り
- ④長崎川を柔らかな光が照らす「第28回一迫夏まつり灯ろう流し大会」
- ⑤「うぐいすの里夏まつり」で披露されたすずめ踊り
- ⑥「第34回水車まつり」で大盛況だった魚つかみコーナー
- ⑦陸上自衛隊東北方面音楽隊による特別演奏
- ⑧青空の下、多くの人でにぎわった「2023栗原市民まつり」